



北方領土返還要求運動
シンボルの花「千島桜」

20 小樽市立菁園中学校（小樽市）

○開催日時 平成25年12月11日（水）

13:30~14:20

○対象者 中学2年生（112名）



語り部講師：三船 志代子 氏（択捉島出身）

☀ 講話のあらまし ☀

- 子どもの頃の択捉島薬取村（しべとろむら）の自然環境、村の人々の生活ぶり、終戦後にソ連軍が島を不法に占拠した時の様子や強制送還により島から引き揚げてきた様子を振り返り、北方領土に対する理解や認識を深めてもらう講話を行った。

※絵本「ばあちゃんのしべとろ」（三船志代子作）の読み聞かせ

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/hrn/sousakuehon_bachan.htm

■ 児童・生徒からの感想 ■

- 小さな村で生きる知恵、引き揚げ船での苦しい思い、すっかり変わってしまった村の今。改めて知れて良かった。
- 若い人の北方領土返還要求運動が大切だと思った。国同士の詳しいことはわからないけれど、お互いに納得できる状態になったらいいなと思う。
- 今まで北方領土のことは全く知らなかったけど、今回の北方領土の語り部で少しわかった。今度からは、色々北方領土を調べてみようと思った。
- 「ばあちゃんのしべとろ」という本が印象に残った。元島民の人達だけではなく、私達も関係があることなんだと思いました。
- 若い人が北方領土返還要求運動を引き継いでいかなければならないと思った。これまで北方領土問題に強い興味を示したことはなかったけれど、今日のお話を聞いて、もっとしっかり向き合ってみようと思う。
- 小さい頃に母が署名をしていたのを見て、そこから私は北方領土というところを知りました。その後も何度か署名運動をしているところを見つけると署名をしていました。今日の話聞いて、元島民の方々に代わって私達が北方領土返還に積極的に取り組むことが大切なことなんだなと思いました。

【先生から・・・】

- 元島民も高齢になり、語り継ぐ人も少なくなっていく。今回を通じて「若い人が北方領土返還要求運動を引き継いでいかなければならない。」と感じた生徒も多い。この機会に運動の盛り上がりをはかり、啓蒙していただきたい。